

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	EAGLES		
○保護者評価実施期間	R7年 3月 3日		～ R7年 4月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	R7年 5月 1日		～ R7年 5月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 5月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者さんとの情報共有・子どもの様子を伝え合うことが出来ている。	・連絡帳に詳細に記載し、保護者さんからの要望があれば電話での相談に応じる。	即応性をもっと高める。保護者さんの心配事に親身に寄り添い専門性を持ってアドバイスが出来るように心がける。
2	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	・支援計画の内容を指導員間で共有する。子どもの成長や苦手な部分を都度共有して、現状把握を行う。「こうなって欲しい」という未来像を保護者の方と共有する。	・これからも情報共有を行い、保護者さんと子どもに寄り添った支援を提供できるよう密に連携する。
3	活動内容が固定化されないように工夫している。	・季節の制作や、ルールのある集団遊び・子どものグループごとに適したプログラムを設定している。	・プログラム内容の狙いや、獲得を期待するスキルについて、保護者さんに周知するようにする。 ・お友だちとの関わりが苦手な子どもでも楽しく参加できる集団遊びを提供する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害の発生に備え、定期的に防災訓練・避難訓練を行っているが、保護者さんに伝わっていない。	・連絡帳への記載だけでは周知しきれていない	・連絡帳への記載だけでなく、訓練の実施方法・避難経路や避難場所を実施した日に配布する。
2	HPの更新がされておらず、活動の様子が見えない。	・時間の制約や、システム環境が整っていない。	環境整備や、HP以外で療育の様子が発信できるように検討する。
3	障がいのない子どもとの交流が少ない。	・地域の公園などでの交流はあるが、少ない。 ・土曜プログラムで同年代の児童との交流はある。障がいのあるなしに関わらず、お友だち同士の関わりの中で得られるものは多くあると思っている。	・気候の良い日は戶外遊びを多く取り入れる。